



みんなで育てる 大和田っ子

大和田っ子

令和8年9月18日
第1回学校評価号
八王子市立大和田小学校
校長 岩本 里美

令和8年度第一回学校評価について

一学期末に行った第一回学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございます。集計結果が整いましたのでご報告いたします。回答は「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の5つから選択していただきました。保護者、地域の方の①～③の質問は、「はい」「いいえ」の2択でした。

児童アンケートより		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
問1	自分から家族や近所の人にあいさつができる。	44.2	39.4	10.6	3.4	2.4
問2	時間を守って生活していますか。	36	44.2	14.4	2.1	3.4
問3	毎日友達と仲良く遊んでいる。	67.8	24.7	4.1	1.4	2.1
問4	相手の気持ちを考え、ていねいな言葉づかいをしていますか。	29.1	53.8	12.3	1	3.8
問5	自分の思っていることや意見を言うことができる。	32.9	37.7	20.2	4.1	5.1
問6	先生の教え方はわかりやすい。	62.3	28.8	5.1	1	2.7
問7	担任の先生は、自分の学習への取り組みを先生は分かってくれている。	48.6	33.2	5.5	1.7	11.0
問8	クラスは、落ち着いて学習できる雰囲気である。	17.5	39.7	22.9	15.4	4.5
問9	家でも自分から勉強している。	34.6	32.9	21.6	9.2	1.7
問10	友達をいじめることなく、自分も友達も大切にしている。	64.0	26.0	6.5	0.7	2.7
問11	学校やクラスのきまりや約束を守って、学習や生活をしている。	55.5	34.9	7.2	0.7	1.7
問12	休み時間には外で遊んだり、体を動かしたりすることが好きである。	59.6	19.2	12.3	6.2	2.7
問13	本を読むことが好きである。	43.5	25.0	16.4	12.3	2.7
問14	学校に楽しく通っている。	49.3	29.1	11.6	5.1	4.8
保護者アンケート(ご回答153名)		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
問1	学校の経営方針(子どもが主役の大和田実業幸～笑顔いっぱい、楽しさいっぱい、幸せいっぱい～)を知っている。	69.3				30.7
問2	学校は、特色ある取組(たてわり班活動)を行っている。	97.4				2.6
問3	本校が、第一中学校と合同で行う取組(第一中学校グループでの授業参観や6年生の中学校での体験授業)を知っている。	79.1				20.9
問4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	70.6	27.5	2	0	0
問5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	63.4	30.1	1.3	0.7	4.6
問6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	56.9	29.4	1.3	1.3	11.1
問7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	64.1	26.1	2.6	1.3	5.9
問8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末等を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。	58.2	28.1	2	1.3	10.5
問9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	57.5	29.4	2.6	0.7	9.8
問10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	62.7	31.4	2.6	1.3	2
問11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	71.2	21.6	0	1.3	5.9
問12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	51	34.6	5.2	0	9.2
問13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	68.6	26.8	3.9	0.7	0
問14	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。	66	23.5	0.7	2.6	7.2

【肯定的意見】

- 先日学校に訪問した際に子供たちの方から大きな声で挨拶をしてくれて朝から素敵な気持ちになりました。先生方の指導や声掛けで子供たちに挨拶が自然に身についているんだなと感じました。良いことはしっかり褒め、悪いことは悪いと正しく指導してくださり感謝しかありません！これからもよろしくお願いいたします。
- 今年度より各クラスの授業の取り組みの様子を投稿してくださっているので、学校での様子がよりよく分かるようになり、ありがたいです。
- いつも明るく、元気に授業をしてくださり、子供が安心して学ぶことができております。良いところは褒めてくださり、係の仕事をしている時も声を掛けてくださるなど、子供たちのことを丁寧に見てくださっていると思います。以前よりも子供が笑顔で帰ってくる日が増えました！毎日の子供との会話から、先生の誠実さが伝わってきて、とても感謝しております。
- いつもありがとうございます。6年生は子どもたちを主体に学校生活を送れていると感じます。
- 高学年になると、運動会や宿泊など、学年での活動も多く、担任以外の先生の授業もありますが、連携をとっていただき感謝しています。
- 運動会の表現種目では、高学年らしいまとまりを感じました。退場のとき、子どもたちが先生方とハイタッチをしたあと、先生方もタッチし合う姿に感動しました。
- 水泳指導について、泳力に差がある中、息を吐くことの重要性を伝えてくださり、それぞれの課題を見つけて学習できるように指導してくださっていました。
- 宿題は、音読のある日も多く、子どもの力になっていることを感じました。宿題でその日にやるべき場所を指定していただいたので、毎日しっかり学習できました。数日後の期日までにここまでやると範囲が決まっていることもあり、計画的に学習する機会になりました。
- 外国語活動について、学校公開で授業を見せていただいたり、書くテストもあったりしました。小学生の英語は親世代は経験がないので、学習内容を知る機会になりました。
- 班での話し合い活動のとき、従来の机の並べ方でなく、風車のように並べていました。メンバーが同じような距離でかわかれて、話しやすいと思いました。中学年のとき、班にしたいくない児童もいましたが、指導が届いているのを感じました。
- 学級便りがあり、授業やクラスの様子が伝わりました。毎週出していただき、驚いています。不安なことや配慮してもらいたいことがあるとき、電話にて、先生と保護者で個別の相談をする機会をいただきました。我が子のことについていつも親身に考えていただき、感謝しております。

【保護者の主なご意見】

＜学習＞【水泳指導】

Q プールに入れる回数が少ないため、学校用の水着を購入するのがもったいない。水着のデザインは自由にしてほしい。

A 学校の水泳指導は授業の一環ですので、水着やラッシュガードは黒や紺色を使用しております。黒や紺色は汚れや透けが防ぎやすく、派手過ぎず落ち着いた色であり、出血の怪我に気づきやすいという面があります。色フード付きでないラッシュガード等、安全面に配慮の上での形は自由ですが、その他につきましてはご相談ください。

【特別活動】

Q 日頃より子どもたちの主体性を育むご指導をいただき感謝しております。

一方で、「子どもたち自身に決めさせる」という場面において、活動の決定事項や役割分担を、先生が十分に把握されていないように見受けられることがあり、懸念しております。役割を決める際、児童（生徒）間での偏りやバランスの崩れがあってもフォローがなく、結果として特定の子どもばかりに負担や役割が集中する状況が続いています。

A 教育活動の役割分担の際には、個々の児童の好きや得意を活かす観点を大切にしながら、児童間の偏りや過度な負担のないように考慮し教員が指導・支援しておりますが、今後も一層の注意を払います。

Q 縦割り班の活動が6年間同じメンバーとなったので、清掃時間も縦割り班で行うことをご検討いただきたいです。以前、放課後子ども教室のボランティア時、4年生の清掃の様子を見ましたが、とても雑でした。箒を持ってランチルームのテーブルの周りをグルグル回っているだけでした。先生が全体を指導することはなかなか難しいと思います。そこで高学年の力を活かして、6年生が主体となって縦割り班で清掃に取り組むことで、縦割り班内のコミュニケーションが更に取れるのではないかと考えます。それがレクリエーションの時間にも繋がり、より活発で協力的な縦割り班活動となり子どもたちの学びの場になることを願っています。

A 日頃より放課後子ども教室において、子どもたちへの学習指導等へのご支援や見守りをいただき、誠にありがとうございます。また、児童の清掃活動への建設的なご意見をいただき、感謝申し上げます。

9月から5・6年環境委員会の児童が2～4年生の掃除場所へ出向き、下級生の手本となって共に清掃活動する取組を試行しております。児童の清掃活動の状況を見て、来年度に繋げていくことを検討いたします。

＜生活＞

Q 学校でのお友達とのトラブルについての報告義務は、どこまであるのでしょうか？トラブルを起こす子供に問題があるのは十分承知ですが、こんな事がありましたという報告だけなのか、相手方とやり取りして欲しいということなのか？明確にして欲しいです。連絡網がなくなった今、関わりのない保護者とは学校に介入していただかないと連絡がとれません。学校から連絡が来ると言うことは相手側が謝罪を求めているのかと構えます。親であれば自分の子が悪いことをしたら謝る。次どうしなければならない（行動を改める）かなど話し合うのは当たり前だと思っているのですが。

A 児童のトラブルについて、学校は児童同士で解決に向かう話し合いの機会を設け、教員が立ち合い、指導・支援しています。怪我を伴うトラブルやいじめに発展する可能性のあるトラブルなど、保護者の方にお知らせするべきと判断した場合に、ご連絡させていただいております。保護者の方にお子様と今後のあり方について話し合ってください、お子様の成長の機会にさせていただくことが大切だと考えます。相手方とのやりとりにつきましては学校が主導することは控えており、保護者の方のご判断にお任せしております。相手方とのやり取りの際には、個人情報のため学校が連絡先の交換などのお手伝いをさせていただきますので、ご相談ください。

＜情報＞

Q 学年だよりを復活させて欲しい。学校での様子が分かりにくくなってしまった。

A 学校便りと学年便りの掲載内容の重複や紙面での配布物を削減する観点から、学校便りと学年便りの一体化を図っています。以前の学年便りに掲載されていた月行事は学校便りに、学習予定はホームページに掲載しております。現在は学年独自の連絡事項のみ学校便りに掲載しており、以前の学年便りの内容を網羅するようにしております。また、運動会や学習発表会等の連絡が必要な際は、臨時学年便りを発行しております。

＜学校行事＞【運動会】

Q 運動会の時期ですが、気候変動が激しくなりつつある昨今。5月では練習や準備が大変ではないかと思いますが、変更の予定はありますか？

Q 運動会の際、子供達の席に、日除けの為にテントが必要ではないかと思いますが。水分補給を促していただいたり、十分に配慮はしていただけてはいると感じておりますが、年々5月でも暑い日が増えているので、熱中症が心配です。予算の問題等あるとは思いますが、子供達を守るために、ぜひご検討をお願いします。

A 来年度、秋に運動会を実施できないか、年間行事のバランスを考慮しながら検討しています。また、春に運動会を実施する場合は、児童席への日除け用のテント設置も検討中です。大和田小学校の所有するテントには数に限りがあることから、学校運営協議会のご協力もいただき、近隣の学校や町会からのテントの借用、運搬が必要となる見込みです。さらには、テント設置作業に保護者の皆様のお力をお借りせざるを得ない状況が生じることが予想されます。児童席へのテント設置の際は改めて保護者の皆様に依頼させていただきますので、ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

Q 兄弟が五中で運動会が今回日程が被っており、小学校の運動会へ行くことができませんでした。とても残念です。次年度配慮していただけると助かります。宜しくお願いします。

A 運動会の日程について、優先的に小中一貫教育の連携校である第一中学校と重ならないように配慮しております。熱中症予防や他の行事とのバランス、練習期間の確保等を考慮して日程を決めるにあたり、近隣の全ての中学校と日程が重ならないようにすることにつきましては、難しさがあります。

Q 運動会のときに気付いたことですが、校舎と反対側の校庭のスピーカーから音が出ていない、音が割れている、もしくは小さいように感じました。近隣への配慮でしょうか。それとも故障や劣化のためでしょうか。校庭のスピーカーとしての想定と違っていましたら、改善の必要があると思いました。

A 校庭のスピーカーは5か所あり、2か所は適切な音量での音が出ており、もう2か所は小さい音が出ており、1か所は音が出ていない状況です。年間予算を鑑み一斉に対応することが難しい場合は、重要な箇所から優先順位をつけ、業者への依頼を進める予定です。

【移動教室】

Q 近隣市小学校の 5 年生移動教室はハヶ岳で乗馬体験やトレッキング、ソフトクリームも食べたとのこと。費用は 9000 円だったそうです。もちろん人数や自治体の施設などに違いがあるとは思いますが、低価格だから良い、ということでもありませんし、先生方が子どもたちにいろいろな体験をさせてくださることに感謝しておりますが、近隣市の情報として、物価燃料費高騰の中でも、児童の体験を担保しつつ、費用を抑える工夫がされている事例が耳に入りましたので共有させていただきました。

5 年生の移動教室は 6 年生の移動教室の練習の意味もあると考えています。市内から日光では距離がかなり違いますし、ステップが大きすぎるのでは？と懸念もございます。ご意見お聞かせいただければ幸いです。

A 八王子市でハヶ岳に移動教室に行く場合、他市の宿泊施設を利用するため、当該市の使用日程以外で利用するので、学校の希望する日程が通らない場合があるそうです。来年度からこの宿泊施設を利用する市がさらに増えることにより、希望日程が叶わない可能性が高くなる状況です。調べたところ、八王子市では昨年度一人当たり約 17,000～20,000 円程度の費用で実施している学校が多いようです。

本校の 5 年生が行く「高尾の森わくわくビレッジ」は、比較的学校の希望する日程で予約をとりやすく、裏高尾では本校の児童に必要な体験活動ができ、日本遺産となっている郷土の自然の豊かさに触れる貴重な機会になります。「高尾森林ふれあい推進センター」のネイチャーガイドの支援のもとに実施される沢登り体験・薪割り体験など、教員が事前に下見と打ち合わせをし、連携しながら計画を進めました。片道 2～3 時間の移動時間がない分、一泊の友達との交流時間や体験活動時間を確保でき、キャンプファイヤーや飯盒炊爨のカレー作りもゆとりをもって行えました。費用につきましては、今年度は約 14,000 円で実施しました。5 年生にとっては初めての宿泊行事であり、楽しみもあるが不安もある児童が多い中で、有事の際には保護者の送り迎えがしやすく、市内の病院が近いことも安心です。

【文化的行事】

Q 学芸会の復活を懇願します。舞台に立って演じる側をすることで、どうやって見てもらいたいかの学びになります。また役を演じることは、その役の人生を味わうことにもなり、立場の違う人の心情を想像するには大変役に立つ経験だと考えます。前、前々、前々々の校長先生にお話した事がありますが、なかなか実現には至りませんでした。ご検討頂いているかも不明です。どういうお考えで「無し」なのかお聞かせいただければ幸いです。

A 本校では普段の学習の成果をお見せできるように、文化的行事として展覧会と音楽会を隔年で実施しています。展覧会では普段の図工の授業で作った作品を、音楽会では音楽の授業で練習した成果を発表しますので、制作時間や練習時間を授業時数で実施することができます。一方、学芸会は練習時間を教科の授業として扱えないため、学校行事として実施することとなり、余剰時数の少ない中での取り組みが難しいという状況があります。余剰時数を生み出すために週時程を変更したり、登校日を増やしたりして授業時数を増やすことは児童や教員の負担に繋がり、八王子市教育委員会も余剰時数を抑える方向性を打ち出しています。

【保護者会】

Q 子供が一学年差です。保護者会が同時刻だと両方に参加できない。1 時間、時間をずらして開催してほしい。

A 保護者会につきまして、ご不便をおかけしております。1・2 年、3・4 年、5・6 年ごとに時間をずらしての開催を検討しておりますが、保護者会後の会議の開始時刻との兼ね合いから、保護者会終了時刻を考慮して時間を設定する必要があります。また、児童の授業時間や教員の休憩時間の確保も必要になりますので、1 時間ずらすことは難しく、30 分程度ずらすことを検討しております。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※ ご多用にもかかわらず、ご協力ありがとうございました。いただきましたご意見は、今後の教育活動に活かしてまいります。個別の課題は、適宜、ご家庭と連携し状況をよく聞き取るなど、対応しますので学校までお知らせください。